

事業番号	10 02 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S33 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現 ②県民の豊かさ全国トップレベルを維持 ⑥様々な人の労働参加を全国トップに				
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 森林を活かす力強い林業・木材産業づくりのために、課題解決に向けた試験・研究や教育の充実を図り、健全な森林の育成や関連産業の効率的発展を目指す。 林業大学卒業生における、林業・木材産業関係分野への就業者の継続的な確保 林業総合センターの試験・研究の促進 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 林業大学や林業総合センターによる知識の教示や試験研究 普及指導員等による地域の林業事業体等の指導など 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 林業大学においては、質の高い人材の育成を図るとともに、林業分野を目指す学生の確保を図るために、学校の魅力を高めていくことが必要である。 長野県の強みであるカラマツ大径材とマツタケを活かした産業や山村の活性化に貢献するための試験研究・開発が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育の強化やICT技術を活用したスマート林業などのカリキュラムを実施するとともに、学生が安心して勉学に励むことができる環境を整備し、林業大学における次代の担い手の育成を図る。 全国的にみても先進的な林業総合センターの試験研究・開発を促進し、木材の新製品やマツタケの人工栽培方法を開発する。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<p>○県有施設原油価格高騰対策</p> <p>原油価格高騰の影響を受けている林業大学及び林業総合センターについて、不足する光熱費等の増額</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】</p> <p>林業大学において、ICTを活用したカリキュラムを導入・実施することで、デジタルテクノロジーやICTに精通し、その様々な技術を活用できるスキルを持った林業の担い手を育成し、DXの推進を図る。</p> <p>【ゼロカーボン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次代の森林・林業を支える人材の育成に取り組むことにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。 木材の新製品開発や成長に優れたコンテナ苗木の開発を通じ、森林のCO2固定・吸収量の増加を図り、ゼロカーボンの達成に寄与する。 <p>【学びの県づくり】</p> <p>実験・実習を重んじ、実践的な森林・林業教育を主眼として、社会の要請に対応し得る生きた教育を行う。</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	林業大学卒業生で就職した者の林業関係分野への就業率	%	70.0	90.0	↑	88.9	↓	80.0	0	472,716	0	
2	林業総合センターの研究開発成果の発表件数	件	95	72	↓	80	↑	80	628,646	231,540	128,169	
3	体験学習の森の講座定員充足率	%	85.6	89.0	↑	94.0	↑	85.0	-28,173	24,318	2,886	
4									600,473	728,574	131,055	
5									563,005	675,493	73,528	
									416,916	184,381		
									86.9	86.9	83.9	

設定理由	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 1.林業大学の学生が林業の担い手として、その知識等が活かせるための指標 2.林業総合センターの研究・試験成果を広く周知し活かすための指標 3.県民参加の森林林業講座の中身の充実を図るための指標
	目標値	<ul style="list-style-type: none"> 1.過去の実績を基に設定 2.過去の実績を基に設定 3.過去の実績を基に設定

事業番号	10 02 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業関連教育・研究開発の推進及び普及関係事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	林業大学校関係事業	545,540 千円	655,511 千円	当初 37,852 補正 84 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	林業大学校費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・林業の担い手確保のため、高性能林業機械やタブレット端末といった先端技術を導入した専門的、体系的な授業の実施 ・原油価格高騰の影響による光熱費等の増額 【林業大学校卒業生のうち林業分野への就業率:80%】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	研究開発の推進及び普及関係事業	54,933 千円	73,063 千円	当初 86,910 補正 2,802 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	林業改良普及事業	直接	森林・林業に関する知識・技術の普及啓発のため、各種研修、指導及び情報発信を行う 【林業普及指導員研修実施回数:5回】	
2	林業総合センター管理費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・林業総合センター施設の管理運営業務 ・ホームページの充実 ・原油価格高騰の影響による光熱費等の増額 	
3	林業総合センター試験研究普及費	直接	森林・林業に係る多様な課題解決のために、技術開発・試験研究を実施 【研究成果の発表件数: 78件】	
4	林業総合センター体験学習の森事業費	直接	森林・林業に関する県民への普及啓発のため、公開講座開催を実施 【実施回数:森林教室 15回、森の勉強会 0回[*]、森林体験講座8回】 ※新型コロナウイルスの感染拡大により開催見送り	